

短期留学・交換留学と海外大学進学の違い

「いつか留学をしてみたいけれど、どのような留学の種類・特徴があるのだろうか？」そう感じている生徒や保護者の方は多いかもしれません。この記事では、留学の種類、目的や費用の目安などを整理し、あなたの「学びたい方向性」に合った選択肢を見つける一つの参考となれればと考えています。

【留学の種類と特徴】

■短期留学

- ・主な対象：小学生～大学生、社会人
- ・期間：1週間～1ヶ月程度
- ・内容：語学学習や文化体験を目的としたプログラム。学校の長期休業期間等に行われることが多く、海外の大学が主催するサマーキャンプや、語学学校、NPO、民間企業などが企画・運営するものがあります。
- ・その他：ホームステイでホストファミリーと生活をするのが一般的です。現地のリアルな生活を学ぶことができます。

■交換留学（協定校留学）

- ・主な対象：大学生
- ・期間：半年～1年程度
- ・内容：日本の大学進学後に、一定期間、学校と連携している海外大学に通い、現地の生徒と授業を受講することができるプログラムです。学費は日本の大学に支払い、留学先の大学への支払は不要です（寮や食費生活費の支払いは必要）。大学や国によって、サークル活動への参加やアルバイトも可能です。
- ・その他：単位互換や奨学金（英語力によって金額が異なるなど）の適用が可能な場合もあります。

■海外大学進学

- ・主な対象：学士課程の場合は高校生（大学院進学等の場合は大卒の社会人も対象）
- ・期間：3～4年
- ・内容：高校卒業後、海外の大学に正規入学し、学士号（3～4年）を取得する留学スタイルです。専門科目を学び、卒業後の進路も、現地企業やグローバル企業など国際的な舞台を選択することができます。
- ・その他：大きく分けてアメリカ型大学とイギリス型の大学に分けられ、国によって入学方法等が異なります。

【目的・メリット・注意点等の比較】

比較ポイント	短期留学	交換留学	海外大学進学
目的	異文化体験 語学学習	異文化体験 現地学生との交流	正式な学位取得 キャリア形成
語学力向上	集中的に英語漬けの経験ができる	語学力+学術英語の基礎が身に付く	自律的な英語運用能力が身に付く
異文化理解	異文化に触れるきっかけづくり	海外の学校生活・文化を体験	多様な背景をもつ学生教授と日常的に関わる
コスト	数十万円～100万円程度（国による） ※滞在費、航空券込 例：US、UK 60万円前後 ：AU、NZ、CA 60万円前後 ：アジア圏 40万円前後	原則、留学先の授業料は無料 ※生活費のみ	年間学費 100～1000万円（国や大学による差大） 例：US、UK 250～1000万 ：AU、NZ、CA 150-350万円前後 ：アジア圏 100～150万円前後

期間	1週間～1ヶ月程度	半年～1年	3～4年
おすすめの人	初めての海外体験に不安がある人	学校と連携して安全に挑戦したい人	海外で本格的に学び、国際的なキャリアを築きたい人
その他 注 意 点 等	周りに日本人も多く、自分から積極的に英語を使う環境を作る必要がある。	大学によって高い成績や語学力が求められ、一度の派遣人数が限られる。	学費がかかるが、国によっては日本の大学よりも安く通える国もある。

【実際に留学を進めるための手続き等】

留学をするためには、申込み、支払い、ビザ申請など多くのステップがあります。実際に申し込みをしたあとは、留学をしたい本人が行う手続きにはどんなものがあるのか確認していきましょう。留学手続きの際、自分で調べてもわからない場合には、サポートしてくれるスタッフは必ずいますので、頼りましょう。

■短期留学

- ・ 申込方法：学校や教育機関、語学スクールに個別で申し込み。
- ・ 必要な書類例：パスポート、語学力証明書、残高証明書など
- ・ その他：集団型／個人型など形態が幅広いため自分に合うスタイルを選択しましょう。

■交換留学

- ・ 申込方法：所属大学の交換留学制度を活用。大学の該当部署へ問い合わせを行う必要がある。
- ・ 必要書類：パスポート、大学の成績証明書、英語力証明書、残高証明書、活動証明書、志望理由書など
- ・ その他：英語などの語学力や GPA の基準あり。選考・面接等実施の可能性あり。

■海外大学進学

- ・ 申込方法：大学へ個別出願、出願エージェントの利用
- ・ 必要書類：パスポート、高校の成績証明書、英語力証明書、推薦状、志望理由書など
- ・ その他：語学条件やエッセイ提出、面接等の実施の可能性あり。出願期間は大学や国によって異なる。

【自分に合った留学スタイルの選択】

「将来はどんな自分になりたいのか」「そのために今、何をすべきか」などを整理することが、あなたに合う留学スタイルを選ぶ鍵になります。

まずは、目的と予算を確認して、自分のビジョンに合った留学の仕方を選びましょう。

短期留学から経験を積むことで、将来的に交換留学、海外大学進学を目指すハードルが下がることもあります。始めから大きな目標のみを意識しすぎず、今できることから始めてみるのも一つのポイントです。